

社会医療法人恵和会 ボランティアグループ にしおかの輪

# ボランティア通信

Vol.36

2023.4

発行  
社会医療法人恵和会

編集  
にしおかの輪

## ボランティアインタビュー

元パティシエによる

# 本格クリスマスケーキ

恵和会には、パティシエとしての経験をお持ちの方が職員として活躍されています。普段は施設職員として勤務されていますが、クリスマス行事ではボランティアとしてケーキを作っていただきご利用者に召し上がっていただいています。今回はお二人のケーキにける思いなどを伺いましたので、お伝えします。

クリーム作りからデコレーションまでメインでケーキを作る佐藤さんは、20歳の頃から35年間いろいろな洋菓子店を渡り歩いてきたベテランパティシエです。ケーキを切り分け、フルーツを飾り付ける松岡さんは製菓専門学校でお菓子作りを学び、その後は和菓子職人として活躍されました。

ー 施設のクリスマスケーキ作りで心がけていることは何ですか？

**佐藤さん：**食べて普通に美味しいと思ってもらえることは大前提ですが、いつももっとすごいものを作ろうと思っています。

**松岡さん：**きれいに丁寧に仕上げることを心掛けています。

ー 前回（2021年）のケーキも大好評でしたが、ご利用者の反応はどうでしたか？

**佐藤さん：**前は初めてのことであったので、反応を見るよりも、デコレーションすることで精いっぱいでした。毎年利用者さんの反応には楽しみでもありますが、ドキドキします。今年はふくまつの入所者さんの前でデコレーションするので、喜んでくれるとう

れしいなと思います。

**松岡さん：**前は泣いて喜んでくれる方がいてうれしかったです。今年も喜ばれるといいなと思います。

ー 最後に、今回のケーキの出来栄はいかがですか？

**佐藤さん 松岡さん：100点です。**

2022年のクリスマス会も、お二人の作ったケーキのおかげで、とても楽しい時間が過ごせました。



◀ 素敵なケーキが作られています（左が佐藤さん、右が松岡さん）



▲完成したクリスマスケーキ

# 各施設の行事紹介

## アメニティ西岡・ライフふくまつ

アメニティ西岡、ライフふくまつでは恒例のクリスマス会を開催しました。通信冒頭でご紹介しました職員製作によるクリスマスケーキをご利用者の皆様に楽しんでいただきました

アメニティ西岡では、佐藤さん、松岡さん製作によるクリスマスケーキを召し上がっていただきました。また、ビンゴ大会を開催するなど楽しい時間を過ごしていただきました。

ライフふくまつでは、ご利用者の前で佐藤さんによるケーキ製作の実演をしていただきました。目の前でパティシエが作るケーキにご利用者からは喜びと感動の声を聞くことができました。最後に出来上がったケーキを皆さんでいただき、とても美味しかったと満足する声も聞こえました。



## 水源池グループホーム

令和5年2月3日（金）、節分行事を行いました。

昼食の恵方巻きは「美味しそう～」とパクリと食べて喜ばれていました。

午後からは、1、2階に分かれて今年も1年元気で過ごせますようにと豆まきを楽しみました。「鬼は外！福は内！」と鬼に向かって手作りの豆を一斉にぶつけて、鬼は「うわ～」と退散しました。



## Café にしおかの輪 再開に向けて準備をはじめています

地域の方々とのつながりを持つことを目的とした「Café にしおかの輪」、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、しばらくの間お休みをしていましたが、7月頃の再開に向けて準備を進めています。

ボランティアの皆様にはご連絡、ご相談をさせていただきながら進めてまいりますのでご協力よろしくお願いいたします！地域の方々へのお誘いもよろしくお願いいたします！

### ～あとがき～

3月にWBCが開催され見事日本が優勝、国内でも大変な盛り上がりを見せました。出場選手の活躍に感動するとともに、各国の選手同士のみならず、観客同士の素敵な交流の様子、外国人記者から見た日本の文化なども多くメディアに取り上げられていました。人と人の和や、日本の文化なども注目されるきっかけとなり、改めて大事にしていきたいと思いました。「にしおかの輪」も皆様とのつながりを持つ活動を徐々に再開していきたいです。

西岡病院 011-853-8322  
アメニティ西岡 011-854-5510  
水源池グループホーム 011-584-0668  
水源池デイサービス 011-584-1350

<http://www.keiwakai.jp/volunteer/index.php>

